



虫には耳はあるの

音を聞くしくみはある

こん虫は、解剖しても、人間のような耳は見つかりません。でも、たいていのこん虫が、いろいろな形で、音を聞く耳の役目をしているものをもっています。

こん虫のなかには、触角の根本から数えて2番目の節に、空気のふるえを感じるしくみをもっているものが多いようです。鳴く虫は、たいてい、いい耳をもっています。

チョウの幼虫のいもむしのように、体全体に生えている毛で、空気のふるえである「音」を感じるような、耳のしくみもあります。

コオロギやキリギリスは、足に耳がある

コオロギやキリギリスなどは、前足の曲がった部分のすぐ下に、耳があります。細長いあながあいていて、音を感じる鼓膜もあります。

トノサマバッタは、前羽と後ろ羽をもち上げると、胸と腹の境目の部分に、三日月形のくぼみがあります。これが、耳になります。

セミは、腹側にある2枚のうろこのようなものの下に、白い鼓膜があり、ここが耳になります。（監修・中山 周平）

